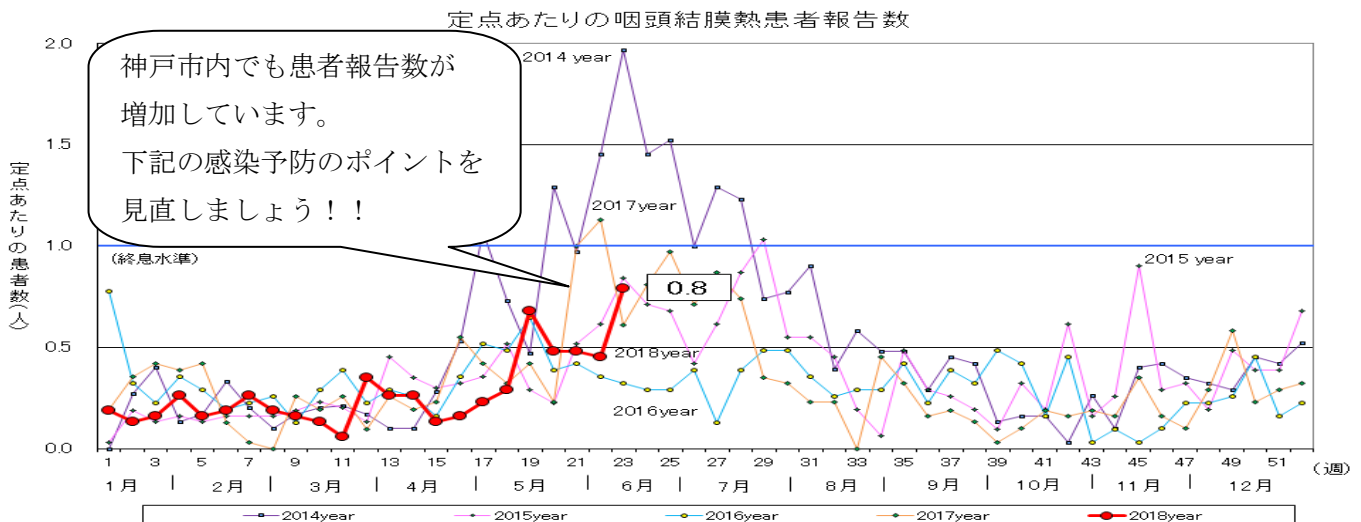


咽頭結膜熱（プール熱）について



○ 咽頭結膜熱（プール熱）とは？

症状：発熱（38～39℃）で発症し、のどの痛み、目の充血（結膜炎）や眼脂などが3～5日間程度続きます。（典型的でない場合もあり、症状の程度も人それぞれです。）

特徴：小児に多い病気で、例年6月頃から徐々に流行しはじめ、7～8月にピークとなります。プールでの接触やタオルの共用、汚染した水により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

原因ウイルス：アデノウイルス

アデノウイルスには、50種類以上の型があり、型によりさまざまな疾患を引き起こします。（咽頭結膜熱（プール熱）、胃腸炎、流行性角結膜炎、呼吸器感染症、出血性膀胱炎など）

潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）：5～7日

感染経路：飛沫感染、接触感染

感染者ののど・便・目の結膜などからウイルスが排泄されます。

症状が強く出ている時が最も感染性がありますが、のどから2週間、便からは数週間ウイルスが排泄されると言われていますので、症状がなくなった後も注意する必要があります。

治療法：特別な治療法はなく、症状に応じた治療を行いません。

※学校保健安全法施行規則では、主要症状（発熱・咽頭炎・結膜炎など）が消退した後2日を経過するまで、出席停止とされています。（ただし症状により伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。）

感染予防のポイント

- ◎ 流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。
※アデノウイルスは消毒用アルコールが効きにくいです！！
- ◎ タオルの共用はやめましょう。
- ◎ プールから上がった後、シャワーを浴び、うがいをしましょう。

